

## 2月臨時会

# 討 論

議案に対する討論について、  
主なものをお知らせします。

### 教育委員会委員の任命

#### 賛成

○中央教育審議会の教育制度分科会の地方教育行政部会の中では市外の人、学者ではだめという議論はされていない。

○地域住民の民意の反映とは、委員に選ばれた方が結果的に地域住民の意向を反映していくこと。

○笹沙准教授と加西市の教育を考える会での真摯な態度と的確な答弁に好感、安心感を持った。

○現在の教育委員会は、教育経験者、県行政経験者、PTA保護者で、大学教授が入っても、偏ったバランスにはならない。

○教育行財政学の専門家で、教育委員会の改革が進まない分野において、他のメンバーの方と

ともに、教育の変革を進めていただけるのではないかと。

#### 反対

○一般市民で加西の教育の現状に関心があり、色のついてない意見を述べられる人を選出すべき。

○大学の公務のほか、全国的に活躍され、多忙である方で、委員として毎月の任務がこなせるのが不安。

○現役のPTAの方を選任されるかどうか。

○教育施設の耐震化、統廃合などの課題の取り組みを進めるためには、加西市にとつしりと両足をつけた人を選任すべき。

○視野の拡大による教育の質の向上は、教育長が本来やらなければならないこと。

#### 採決結果

賛成7、反対10で不同意

### 職員の公益的法人等への派遣等に関する条例

#### 原案に賛成

○市役所の庁舎内ばかりでなく、いろんなところへ行って勉強し、活躍したい職員もいるはず。

○社協組織の改革、改善には、管理業務に長けた市職員の派遣が望まれて提案されている。意地の張り合いでいたすずに時間を費やすのではなく、早急に議

決し、派遣を行うべき。

#### 修正案に賛成

○市長より、議会から社会福祉協議会限定の修正案を出されたら受け入れる用意もあるとの答弁があり、市民の目線に立ち、少しでも前へ進める努力が、市民から求められている。

○原案に賛成だが、緊急を要する社会福祉協議会に人員を派遣すべき。

○社会福祉協議会に派遣することとは異存がなく、どちらから提案しても、市民益、福祉益につながればいいこと。

#### 原案に反対

○以前否決された議案と全く同じ内容で、いつでもどこでも派遣できることが問題。

○派遣先にJA兵庫みらいの名前も挙がったが、公的な役割も担っているとはいえず、金融機関、共済、福祉、葬儀、旅行等を行っている事業体で、公務員が従事することは慎重であるべき。

○規則で派遣先を定めるのは、恣意的運用は言うまでもなく、職権濫用の危険も危惧される。

#### 修正案に反対

○社会福祉法人に対する派遣に限るとの文言を加筆され再提案されることを提案したが、受け入れられなかった。

○行政側から積極的に提出されるべき。

#### 採決結果

(修正案) 賛成5、反対12で否決  
(原案) 賛成6、反対11で否決

### 副市長定数条例

#### 賛成

○2名以内を状況によっては認めるという制度設計で、条例が可決されれば即2名を同意するものではない。

○加西市の政策課題を解消するには、問題意識を持って、外部との交渉も行え、各部署に指示ができる副市長が必要。

#### 反対

○現在の副市長や部長に指示を的確にし、連携を密にして、連絡指示が末端まで伝わるようにすれば、2人も要らない。

○現状の限られた資源で職員と一体となり当面の課題を民間の知恵、発想で工夫し、乗り切る姿勢を示してもらいたい。

○財政再建が急務であり、副市長1人分の年間経費1,600万円強の費用対効果が不透明。

○市長の仕事のあり方、権限委譲のあり方、制度的なものを変えなければ行政のスピードアップはできない。

#### 採決結果

賛成4、反対13で否決

### 開発調整条例

#### 原案・修正案に賛成

○条例制定により、事前に市、住民が工事着手前に開発を知ることが出来る。

○経済が停滞しないよう、開発調整審査会を設け、スムーズな対応や、公正、公平な対応が求められる。

○議会での否決を踏まえ再検討された内容が今回も反映されている。

○危惧される点は、監視機能を発揮をさせていくことが議会の本来の役割。

#### 原案・修正案に反対

○調整に名を借りたチェックに変わりなく、平等性、公平性、公正さが確保されなければ安心できない。

○開発調整委員会の性格が未知数。

○開発を促進するどころか、抑止につながるもので、現不況下において制定すべきではない。

○乱開発防止は重要だが、現法律で、十分対応できる。

#### 採決結果

原案・修正案ともに賛成7、反対10で否決